

宇宙普遍生物学セミナー

第2回 2021年12月14日(火)

16:00~17:30 オンライン

天文学者の「宇宙生物学」と生物学者
の「普遍生物学」との乖離と接点

須藤 靖

(ビッグバンセンター, 理学系)

11月4日に公表された米国の天文学・宇宙物理学ディケイダルサーベイでは、3つの主要科学目標の筆頭に"Pathways to Habitable Worlds"が挙げられている。この例が端的に示すように、今や天文学者は宇宙における生命探査に熱い情熱を傾けつつある一方で、ほとんどの生物学者は冷たいままだ。地球上の生物学にまだまだ重要な難問が山積している現状で、あえて地球外の生物学という水物に取り組む必然性がないのは十分理解できる。しかし、そのような危険性を顧みず協力してくれる 奇抜な生物学者なしには、天文学者の夢はあくまで夢のままであろう。今回は、宇宙における生命探査法を紹介しながら、「生物学者に叱られる！」ことで、普遍生物学との接点を模索する場としたい。

